

「平気だよ…」 ～児童虐待について考えよう～

ねらい

児童虐待の実態について正しく理解するとともに、児童虐待をその家族や親個人の問題とするのではなく、社会全体の問題としてとらえ、私たち大人がそれぞれの立場でできることは何かについて考えます。

◇時間◇	50分	◇人数◇	1グループ4～6人
◇準備物◇	資料①、資料②とワークシート（両面刷り）、資料③と資料編P44（両面刷り）、模造紙、付箋紙、ペン		

展開

- 1 虐待を受けている子どもの気持ちについて考える。

【やり方】

- ① 資料①の下部を隠したポスターを見て、何について訴えているポスターなのかを考え、グループで自由に意見を出し合う。
- ② 資料①が児童虐待防止推進月間のポスターであることを確認する。
- ③ ポスターの中の「『平気だよ』優しい子どもが、嘘をつく。」の言葉から、子どもが虐待を受けていることを隠したがる気持ちについて、グループで話し合う。

資料①の下部を隠したポスター



- 2 保護者が虐待をしてしまう原因について考える。

【やり方】

- ① 資料②の事例を読み、虐待をしてしまう原因としてどんなことが考えられるかを、思いつくままに付箋紙に書き出す。
- ② 書き出した付箋紙を、模造紙に貼りながら自分の意見を発表する。
- ③ ②の内容を基に、グループで意見をまとめ、代表者が全体で発表する。
(例)・望まない妊娠 ・家庭の不和 ・経済的な問題 ・親自身の不安定な精神状態
・子育ての悩みやプレッシャー ・周囲からの孤立 ・虐待の連鎖 など

- 3 子どもを虐待から守るために、周囲の大人が、それぞれの立場で何ができそうかについて考え、ふりかえりとする。

- 4 資料③、資料編P44を紹介し、日頃から地域全体で関わることの大切さについて確認する。

ファシリテーターの言葉かけ例

展開1 （資料①の下部を隠したポスターを見せる）このポスターを見てください。これは、何について訴えているポスターだと思いますか。グループで自由に意見を出し合ってください。（グループで出た意見を発表してもらおう）

実はこれは、大阪市の児童虐待防止推進月間のポスターです。（資料①の全容を見せる）児童虐待を受けている子どもは、『『平気だよ』優しい子どもが、嘘をつく。』という言葉にもあるように、つらい目に遭いながらも、このポスターの子どものように自分が虐待を受けていることを隠したがる傾向があるようです。その気持ちについて、グループで話し合ってみましょう。（グループで出た意見を発表してもらおう）

虐待を受けていても、虐待者は子どもにとって必要な家族であり得るでしょう。子どもは、虐待を打ち明けることによって、見捨てられるのではないかと、より一層ひどい虐待を受けるのではないかと不安を感じて、周囲の人になかなか助けを求めることができず、深刻化することも少なくありません。児童虐待は、「家庭」という外から見えにくい場所で起こり、被害者である子どもが自ら助けを求めることが難しいために、気付きにくいものであることを理解しましょう。

展開2 次に、保護者が虐待をしてしまう原因について考えてみましょう。（資料②・ワークシートを配布する）資料②を見てください。まずは、2つの事例を読んでみてください。（適当に時間をとる）どのような感想をもちましたか？

<参考>を見てください。多くの方は“虐待”と聞くと、身体に傷やあざなどが生じるような暴行を加える「身体的虐待」を思い浮かべがちです。しかし、左のグラフのように、栃木県児童相談所における児童虐待相談の対応件数は、1つ目の事例のような「心理的虐待」が最も多く、次いで2つ目の事例のような「ネグレクト」が多いことがわかります。4種類の“虐待”は、それぞれに複雑に絡み合っているケースが少なくありませんが、先ほどのポスターの子どものように、外見からだけでは虐待の事実がわからない場合があることを理解しておく必要があります。また、右のグラフから、児童虐待の主たる加害者の65%は、先ほどの事例のような「実母」であるということがわかります。

それでは、今読んでいただいた事例を基に、各自で保護者が虐待をしてしまう原因を考え、机上の付箋紙1枚につき1つずつ簡潔に書いてください。何枚になっても結構です。（5分後）書き出した付箋紙を1枚ずつ発表しながら、模造紙に貼っていきましょう。その際、似ている内容は近くに貼るようにしてください。全員の意見が出たら、内容のまとまりごとにペンで見出しを書き添えてください。

（作業が終了したのを見計らって代表者に発表してもらおう）

展開3 資料②の裏面を見てください。虐待を受けている子どもの気持ちや、保護者が虐待をしてしまう原因を踏まえて、子どもを虐待から守るために、自分が「どのような立場」で「何ができそうか」について考え、ワークシートに書き入れてください。（適当に時間をとる）グループ内で、一人ずつ順番に発表してください。

展開4 今日の活動をとおして、気付いたこと、感じたことをワークシートに書いてください。（数名に発表してもらい全体で共有する）

（資料③・資料編P44を配布する）資料③を見てください。これは栃木県児童虐待防止推進月間のパネルです。（文章を読み上げる）多くの虐待のケースでは、保護者が社会的に孤立し、保護者だけで子育てを抱え込んで苦労している現実があります。普段から子育て中の親子に優しいまなざしを送り、地域から孤立しないように関わるのが大切です。泣いている赤ちゃんにほほえみかけたり、段差でのベビーカーの持ち運びを手伝ったり…そんな些細な“おせっかい”が子育て中の保護者の心の支えになります。また、日頃から地域の子どもの様子をよく見守り、早期発見につなげることも大切です。裏面を見てください。あなたの身近な所で「もしかして、虐待？」と思った時には、ためらわず児童相談所全国共通ダイヤル189（いちはやく）に連絡する方法があります。あなたの勇気によって、救われる子どもがいるかもしれません。



出典：「大阪市人権に関する作品募集事業」平成25年度 ポスター・ステッカーデザイン [一般の部] 佳作 中手拓哉さん
平成24年度 キャッチコピーの部 特別奨励賞 松本優作さん

「虐待をしてしまう保護者の事例から考えてみましょう」

<心理的虐待の事例>

【ひどい暴言や無視、配偶者への暴力（DV）を見せる、他の兄弟と差別するなど、子どもに著しい心理的外傷を与えること】

夫の転勤で引っ越してきてから、3歳の娘の病弱さや発達の遅れが私をいら立たせ、何かあると「そばに来るな」「あんたなんか嫌い」「死んでしまえ」と思いつく限りの言葉を投げつけています。最近は、外出することも減り一日中家に閉じこもることが多くなりました。

このままではいけないと思いつつ、頭の中に浮かんでくるのは、昔母から受けた同じような光景です。「お前なんか生まなければよかった」…気がつけば、娘にも同じような暴言をあげています。



Aさん（31歳）

<ネグレクトの事例>

【子どもの心身の正常な発達を妨げるような著しい減食、長時間の放置、その他保護者としての監護を怠ること】



Bさん（23歳）

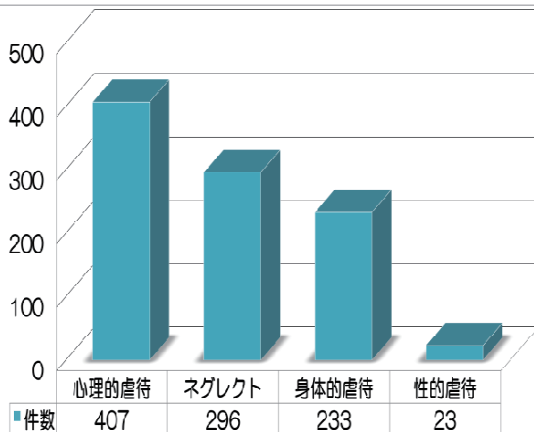
息子が産まれて間もなく、夫に借金があることがわかり、仕事に出るようになりました。息子が6ヶ月になった頃から、泣き声が耳につき、うるさく感じて我慢できなくなりました。そのような時は、おなかがすいていても、おむつが汚れていても、泣き疲れて眠ってしまうまで放っておいてしまうのです。

いい母親にならなくては…と、申し訳なくて涙が出るのですが、何度も同じことをしてしまう私があります。

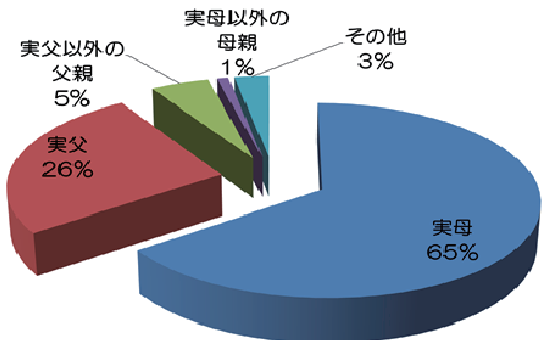
※ 上記の他、虐待にあたる行為として、**身体的虐待**【子どもの体に傷やあざなどが生じる（生じるおそれがある）ような暴行を加えること】や**性的虐待**【子どもにわいせつな行為をすること、または子どもにわいせつな行為をさせること】があります。

主たる加害者は？

児童相談所における児童虐待相談の種類別件数
(栃木県児童相談所 H27)



虐待者別児童虐待相談対応件数の割合
(栃木県児童相談所 H27)



出典：栃木県保健福祉部こども政策課HPより作成

「おせっかいを焼いて」

虐待は、特別な家庭の
出来事ではありません。
だれにでも
起こりうることです。

だから、虐待は、
私たちの社会の問題です。

小さな勇気を出しましょう。
たとえ、おせっかいといわれても、
そのおせっかいで救われる子どもがいます。



児童虐待相談件数は年々増え続けています。子どもを守るためには、児童虐待をその家族や親個人の特別な問題とするのではなく、社会全体の問題として関心を持っていくことが重要です。
親の抱える育児不安に寄り添って支援したり、地域から孤立しないように声をかけたりする日頃からの関わりが大切です。

 11月は児童虐待防止推進月間です。

製作：栃木県
協力：子ども虐待防止ネットワークとちぎ

出典：「栃木県児童虐待防止推進月間パネル〈地域住民編〉」

(栃木県保健福祉部こども政策課 平成23年)

※上記の他、〈子ども編〉〈保護者編〉もあります。

栃木 人権資料

検索



「子どもを虐待から守るために、自分ができそうなことは何ですか？」

「どのような立場」で「何ができるか」を具体的に考えてみましょう。

私は、

例：近所のおばさん、民生委員、児童委員、農家…等
（役職や職業に関わらなくてもOK！）



の立場で

例：駅や病院で子育て中の親子を見かけたら、「かわいい赤ちゃんだね」「子育てごろうさま」など、こちらから積極的に声をかける…等
（具体的にできそうなことを書いてみてください！）

が、できそうです。